

令和5年度 倫理審査対象研究課題の概要

研究課題	小児の感染性胃腸炎における病因ウイルスの分子疫学的解析	
実施期間	令和6年4月から令和9年3月まで	
研究内容	胃腸炎ウイルスの遺伝子型別検査法を確立し、福井県における胃腸炎ウイルスの流行実態を調査・解析する。	
期待される効果	<p>○福井県における胃腸炎ウイルスの流行実態を、これまでよりも詳細に把握できる。</p> <p>○当センターでの検査手技の確立、サーベイランス機能の充実につながる。</p>	
倫理的配慮事項	<p>○医療機関からの試料提供段階で検体採取日、年齢、性別、臨床所見以外の個人情報（氏名、生年月日等）は削除され、個人を特定できない符号または番号のみで取り扱うため、当センターで個人を特定することはできない。</p> <p>○臨床検体は病原体ウイルスの検出および解析にのみ使用し、研究対象者の遺伝情報の解析は行わない。</p> <p>○研究成果を発表する際は、個人が特定できる情報は含まれない。</p>	
審査結果	承認	
主な意見等	意見	対応
	特になし	特になし